

【 F Mマニュアル 】

モニタリング関連マニュアル

森林巡視実施要領	・・・・・・・・	1 ～ 2
森林管理巡視日誌	・・・・・・・・	3
作業完了時巡視報告書	・・・・・・・・	4
モニタリング実施要領	・・・・・・・・	5
資源モニタリング調査票	・・・・・・・・	6
生物多様性モニタリング調査票	・・・・・・・・	7

上川森林認証協議会

森 林 巡 視 実 施 要 領

1. 趣 旨

この巡視・調査は、対象森林の現況を把握し、環境への影響を評価することにより森林の持つ様々な働きを高め、より良い森林づくりが出来るように管理することを目的に実施する。

2. 実施内容

- (1) 作業を実施した時には、作業完了時チェック項目について確認する。
- (2) 巡視を実施した結果は、それぞれ所定の用紙に記録すること。
- (3) 必要に応じ写真を撮影し、位置情報その他の記録を保存する。
- (4) 現場に出向く場合には、「認証対象森林に生息・生育する注意すべき動植物一覧」を携帯する。

3. 巡視時確認項目

- (1) 林地の汚染、林道等施設の損傷、各種森林被害及び山地災害等の未然防止、状況確認
 - ア．林内への廃棄物等不法投棄の未然防止及び状況
 - イ．林道、治山施設等の保全状況
 - ウ．森林病虫害及びエゾシカ・野鼠による造林木被害の未然防止及び状況
 - エ．山地災害（土砂崩壊流出、地滑り、水系の決壊等）の未然防止及び台風、降雨（大雨、豪雨等）後の山地災害、濁水等の状況
 - オ．春期乾燥期における入林者への林野火災の予防啓蒙
 - カ．森林内への入込み状況の把握及び入林の監視
- (2) 市町村森林整備計画の達成状況の把握
 - 伐採（主間伐）、造林、保育等森林経営計画に対する実行状況の確認
- (3) 森林認証制度対象森林の管理及び施業の確認
- (4) 対象森林の林分状況（林分の生育状況、下層植生及び水辺林等の保全状況）及び要整備林分の把握
- (5) 対象森林の伐採等届出に対する確認
- (6) 開発行為等の届出の確認
- (7) 境界及び境界標の保全（境界侵害の防止）
- (8) 盗伐（無断伐採、無許可伐採）、盗採の防止
- (9) 希少動植物の生育状況の把握

4. 作業完了時チェック項目

作業責任者は、作業完了時巡視報告書の下記項目をチェックし、写真を添付の上、提出すること。

- (1) 保護樹帯は、適切に育成・保存されているか。
- (2) 水辺林は、適切に育成・保存されているか。
- (3) 下層植生は、適切に育成・保存されているか。
- (4) 伐採木等に芯の腐れはないか。

- (5) ねずみ被害など病虫害獣害はないか。
- (6) 土壌は、適切に保護されているか。
- (7) 水系に濁りやその他の異常はないか。
- (8) 林道・作業道及び山道に異常はないか。
- (9) 作業等で使用した燃料、オイル類の空き缶及びゴミ等が放置されていないか。
- (10) レッドリスト種を視認したか。
- (11) その他特記事項

森林管理巡視日誌

巡視月日	曜日	天気	巡視者名	巡視地区	
令和 年 月 日				市町村	
				地区	

巡視内容及び異常の有無、特記・指導事項等

巡視内容	廃棄物等不法投棄の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	林道・作業道・治山施設等の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	森林病虫害等による造林木被害の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	山地災害（土砂流出・地滑り等）の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	春期における林野火災予防の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	林内への入り込み状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	森林経営計画の実行状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	森林認証制度対象森林の管理の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	林分状況及び要整備林分の把握	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	伐採届等の現地の確認	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	境界及び境界標の保全の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	盗伐及び盗伐の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
	希少動植物（RDB 種）の生息・生育状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり〔 〕
特記事項 又は 希少動植物情報 （具体的に）		
巡視ルート		

作業完了時巡視報告書

作 業 名		報 告 者	
作業場所			
報 告 日	令和 年 月 日 (曜日)		
チ ャ ッ ク 内 容			
巡視結果 チェック	①保護樹帯は、適切に育成・保護されているか。		
	②水辺林は、適切に育成・保存されているか。		
	③下層植生は、適切に育成・保存されているか。		
	④伐採木等に芯の腐れはないか。(ある場合 被害率 %程度)		
	⑤ねずみ被害など病虫害獣害はないか。(被害名： 被害率 %程度)		
	⑥土壌は、適切に保護されているのか。		
	⑦水系に濁りやその他の異常はないか。		
	⑧林道・作業道及び山道に異常はないか。		
	⑨作業等で使用した燃料・オイル類の空き缶が放置されていないか。		
	⑩レッドリスト種を視認したか。		
特記事項及び完了後写真（病虫害やレッドリスト種を確認した場合は、その写真も添付。）			
○：良好 ×：問題あり －：該当なし			

モニタリング実施要領

- 1 モニタリングは、管理計画の実行及び改訂に反映されるため、上川森林認証協議会（以下「協議会」という。）では、内容・手法・反映の仕方等に鑑み、「資源モニタリング」と「生物多様性モニタリング」に区分して行う。

2 資源モニタリング

資源状況の把握を主目的にし、以下のとおり行う。

(1) プロットの設定

私有林は、各市町村私有林に最低3箇所、公有林は、最低2箇所設定する。

(2) 調査内容

ア．プロット面積（最低限～樹高×樹高の区画）

イ．樹齢・樹高・成立本数

ウ．傾斜・地形

エ．地位判定

(3) 結 果

ア．資源モニタリング台帳の作成

イ．森林所有者への通知

ウ．森林経営計画書への反映

3 生物多様性モニタリング

(1) 調査等

2－(1)により設定したプロットにおいて「生物多様性モニタリング調査票」により行うものとする。

(2) 調査員の研修等

巡視員の生物多様性に関するこの能力が重要となるので、巡視員等は地域における生物多様性に関する情報を広範に収集するよう努める。

(3) 結 果

ア．台帳の作成

イ．管理計画への反映

この情報等を基にした「動植物マップ」などを作成し、管理計画に反映する。

4 情報の蓄積・分析と公開

(1) 情報の蓄積・分析

資源モニタリングと生物多様性モニタリングで得た情報は、一元管理・蓄積・分析する。

(2) 情報の公開

協議会は、情報の機密性を尊重しながらも個人情報以外の基本情報・林内状況について、事務局に備え、一般の閲覧に供する。

資源モニタリング調査票

				確認欄	組合長	事務局	部署管理者	作成者

実施年月日： 実施者：

基本情報	山林名：		林小班：	面積(ha)：	樹 種：	林 齢：			
	林 種： 1,人工林 2,天然林		施業区分： 1,循環林 2,天然林誘導		ゾーニング区分：				
	林 種： 1,普通林 2,保安林 3,国立・国定公園		4,その他の制限林		→種 類：				
	施業種：			機能区分 (H・M)： 水源涵養 山地災害防止 保健文化 生活環境保全 木材生産					
	標高(m)：	傾斜(度)：	地 形： 山頂 尾根 中腹 谷 平地 その他						
	施業経歴：								
	施業予定：								

チェック項目		プロットサイズ：		m四方	ha					
林内状況	階層	高さ (m)	植被率(%)	優占種						
	1, 高木層									
	2, 亜高木層									
	3, 低木層									
	4, 草本層									
	有用広葉樹の状況(6上) (上：樹種、下：本数)	ナラ	マカバ	ヤチダモ	ホオノキ	クルミ	アサダ	エンジュ	センノキ	

主要樹種	
------	--

収量指数 (Ry)：	上層高 (m)：	地位指数：	等地
------------	----------	-------	----

主要樹種積算表 (1 haあたり)

樹種	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	単材積 (m ³)	本数	直径階当り (m ³)	積算本数	積算材積 (m ³)	平均材積 (m ³)	平均直径 (cm)	平均樹高 (m)

※積算表を貼り付ける

※1/5000図面、標準地野帳、写真を整理しておく。

生物多様性モニタリング調査票

確認欄	組合長	事務局	部署管理者	作成者

実施年月日：

実施者：

基本情報	山林名：	林小班：	面積(ha)：	樹種：	林齢：	
	林種： 1,人工林 2,天然林	施業区分： 1,循環林 2,天然林誘導	ゾーニング区分： 0			
	林種： 1,普通林 2,保安林 3,国立・国定公園 4,その他の制限林	→種類： 0				
	施業種：	機能区分 (H・M)： 水源涵養 山地災害防止 保健文化 生活環境保全 木材生産				
	標高(m)：	傾斜(度)：	地形： 山頂 尾根 中腹 谷 平地 その他			
	施業経歴：					
	施業予定：					

チェック項目

プロットサイズ：

m四方

ha

地表状況	コケ類の状況	1,多い	2,普通	3,少ない	4,なし		
	下層植生の状況(占める割合%)	100	99-70	69-40	39-10	10未満	優占種：
	レッドリストの生息	1,ある	2,ない	※ある場合は下表に詳細を記入する。			
	動物の生息痕	クマ	シカ	タヌキ	リス	ヘビ	その他
	崩壊地の有無	1,ある	2,ない	※ある場合、そのサイズを記載			
	マーキングの有無	1,ある	2,ない				

レッドリストの生育状況	区分	種名	数	種名	数	種名	数
	植物						
	動物						
	他						
	〈マーキングを行った場合はその内容〉						

林内状況	林分の生育状況	1,良好	2,普通	3,不良
	光の状況	1,良好	2,普通	3,不良
	天然更新状況	1,良好	2,普通	3,不良
	天然林・複層林への誘導状況	1,良好	2,普通	3,不良
	獣害の有無	1,ある	2,ない	※ある場合、その内容（種類と割合or本数）
	虫害の有無	1,ある	2,ない	※ある場合、その内容（種類と割合or本数）
	病害の有無	1,ある	2,ない	※ある場合、その内容（種類と割合or本数）
	樹洞木・倒木の有無	1,ある	2,ない	※ある場合、その内容（樹種と本数）
	野鳥の鳴き声の有無	1,ある	2,ない	※ある場合、その内容（種類）
	営巢の有無	1,ある	2,ない	※ある場合、その内容（種類）
※生育樹種及び本数（胸高直径6cm上）、有用広葉樹の種類及び本数、平均樹高・直径については資源モニタリング調査票による。				